

JULY  
24<sup>th</sup>  
2024

tip TMDU  
Innovation Park



8号館7F

TMDU Innovation Park(TIP)

17:30-19:00



今、大学で“**ホット**”な研究者の研究プロジェクトを  
聞きに来ませんか？学内・企業・スタートアップ企業と  
コミュニケーションが図れる交流会も！  
コーヒーと軽食を準備してお待ちしています！

お申込みはこちら

※学内の方は飛び込み参加もOK  
企業・学外の方は事前登録をお願いします



## ポスターセッション発表者の紹介



再生医療研究センター 准教授 油井 史郎

**「腸オルガノイドと臨床応用-炎症モデルから組織デザインまで」**  
私の研究履歴は、オルガノイド研究の中にあります。炎症によって上皮がどのような影響を受けるのかを理解し、これをベースとして上皮を起源とする癌における炎症という微小環境癌を理解する病態研究は、創薬に欠かせないツールと考えています。並行して、オルガノイド移植を通じて、上皮機能を改変する試みをしています。ヒトという生物の脆弱性を克服するために細胞の能力を最大限追求します。

難治疾患研究所 未来生命科学研究所 発生再生生物学分野 助教 岡本 好海

**「ゲノムドライバー変異を介さない**

**がん発症における転写共役因子YAPの機能解明」**

大規模ながん組織の全ゲノム体細胞解析から、ドライバー変異の全体像が明らかになってきました。しかしながら、約5%のがんではドライバー変異が見つからず、このようながんの発症機構は不明です。転写共役因子YAPは、外部環境に応答し増殖を誘導するがん原遺伝子産物です。YAP活性化を誘導するゲノムドライバー変異はほとんど生じていませんが、YAPの異常な活性化は多様なヒトのがん組織で観察され、患者の予後不良と相関することが知られています。私達は、YAPがエピゲノム変化やがん微小環境形成を介して肝細胞がんを誘導する可能性を検証しています。



生体補綴歯科学分野 講師 野崎 浩佑

**「構造制御と表面改質による高機能セラミックスナノ粒子の開発」**

歯冠補綴装置やインプラント材料は優れた臨床成績を示していますが、5年後には約10%の症例で口腔内細菌感染による再治療が必要となることが報告されています。そのため、抗菌性歯科材料の開発が望まれています。従来の抗菌剤は時間経過とともに効果が低下したり、周囲組織への毒性や長期的な安定性に課題があったりといった問題があります。本発表では、抗菌活性材料として酸化チタンに着目し、その高機能化のための技術を紹介します。



腎臓内科学分野 テニュアトラック准教授 萬代 新太郎

**「根本的治療法の無い慢性腎臓病の克服のため**

**細胞外小胞を新たな診断技術・薬の創製に生かす」**

慢性腎臓病(chronic kidney disease, CKD)は、心血管病やサルコペニアなど全身臓器の機能低下、“腎性老化”を引き起こします。私たちの血液を高濃度で循環する微粒子、細胞外小胞(small extracellular vesicles, EV)の“質”に着目し、健康状態と疾患状態でどのように変化するかの一例として、“悪玉”EVが血管平滑筋の形質転換、血管石灰化を促すことを最近示しました。将来的に健康EV、悪玉EVを標的に新たな診断法・治療法の開発を目指します。



企業の紹介 TIP主催Wednesday 4 Meetupの特徴は**企業に出会えること!**

Flox Bio



FloxBio

こんな研究者に出会いたい!

社会実装のための応用研究に興味があり、そのための道筋を模索している研究者

創薬研究の先駆け企業。アカデミア研究者の才能と自社研究の融合から生まれる独創的なソリューションで事業化・起業を行い、革新的なシーズの社会実装を推進していきます。インダストリーエキスパートが事業化に向けた戦略を共同立案し、研究者のインセンティブを明確にしたうえでのベンチャークリエーションを目指します。既に東京医科歯科大学をはじめとする多くの研究者のそばで、事業化のためのグラント獲得と社会実装にむけた研究開発の実行をサポートしています。

問い合わせ先 東京医科歯科大学 TMDU Innovation Park(TIP)事務局

開催責任者: 飯田 香緒里(オープンイノベーションセンター長) 担当:川上 [openinnovation.tlo@tmd.ac.jp](mailto:openinnovation.tlo@tmd.ac.jp)